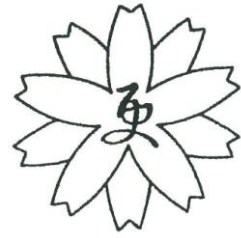


掛川地区 更生保護女性会



裁判の傍聴

- 9月16日 覚醒剤取締法違反
- 9月18日 無免許過失運転致傷
- 9月22日 常習累犯窃盗



(掛川更女 50 周年記念) 秋のお茶会



10/3 啓発集会

詳細はホームページをご覧ください

目次

- p1 (掛川更女 50 周年記念) 秋のお茶会
裁判の傍聴
- p2 裁判の傍聴をして思うこと
裁判の傍聴に参加して
- p3 子育て支援に参加して
夕食作りに参加して
大東交流センターフェスタ
参加
- p4 障子張り作業
「命の尊さ 産んでくれてありがとう」冠講座に参加して

第 88 号 更女だより
大東支部担当

自分を守ることが
できなかったことは残念だ
もっと自分に厳しく
生きてほしかった

家族に見放されて
初めて気づいたようだけど
見守られている時に更生して
ほしかった

ドラマを観ているようだった
子供の頃より
世の中のルールを守る教育が
大切だと思う

今、学校でも
けじめの教育には厳しい
今日のことを孫にも話したい

家族愛の大切さを感じ
「二度とやらない」との
言葉を信じたい

罪を犯すと
残りの人生は大変なものだ
更生保護の力が必要だと思う

掛川市福祉課

掛川市長谷 1-1-1

TEL: 21-1140 FAX: 21-1163

掛川地区更生保護女性会

<http://kakegawa-koujyo.com/>

会長 戸塚久美子

TEL: 090-5636-8333

裁判の傍聴をして思うこと

文責 大東支部 富田とみ子

確か9月中旬（月日の経つのは早いもので、ただ記憶に仙って書かせて頂きますから間違っていましたらお許し下さい。）——静岡地方裁判所、浜松支部へ裁判の傍聴に参りました。

浜松駅周辺は、すでに馴染み深い処と思いきや、裁判所へは初めてで何となく緊張いたしました。

傍聴席について時間を待つと、やがてドアが開いて、一人の青年（被告人）がはばからず顔をこちらに向けて席につきました。検察官から覚醒剤使用者であること、氏名、生年月日、住所と読み上げられ、聞いてはいけない事を聞いてしまったような胸に迫るものを感じました。

弁護人から数々の言葉、そのうち被告人のお母さんが入廷して来ました。青年は5回も刑務所に入入りしているとのこと。目の前の母と子、双方の状態からとても言葉でいえない複雑なものを感じました。

～子どもは母親の愛情のもとで育つ～。この息子さんはもう50才に近い大人ですが幼い頃の環境はいかがだったでしょうか？……とやりきれませんでした。

傍聴して、罪を犯した疑いで起訴された人に、公平な裁判を通し、のちに罪を償い再び罪を犯さない人になって欲しい!!と心より強く願い祈る気持ちでいっぱいでした。

裁判の傍聴に参加して

文責 掛川支部 大谷よし

私達は自己研鑽につとめ地域の浄化につとめ明るい社会作りのための一環として浜松裁判所の裁判傍聴に5人で参加しました。

前の裁判が長びき5分遅れて傍聴席に着席した時は裁判官3人とその前に裁判所書記官と速記官が机に着き横に裁判所事務官が席に着いておりました。

被告人は犯した罪を反省し困惑した表情の40代の建築業の男性でした。証人は母親と親類の男性、弁護人は男女2人、検察官は女性でした。傍聴人は私達5人に他に3、4人。無免許になったのは飲酒運転をしたためであった。人身事故を起したのは被告人の発言では当日現場に来て欲しいとの電話があり無免許状態にも拘わらず車に乗りケータイが鳴ったので取り出した時に落としてしまい、慌てて拾おうとして事故を起してしまったと。

すべて間が悪かったと片づけて良いのだろうか。初めから法規を無視していた結果ではなかろうか。

無免許過失運転致傷の傍聴が終った。その日は9月18日の10時～11時で判決は10月9日との事でどんな判決であっただろうか。

真面目に刑を受け1日も早い社会復帰を願うばかりです。すべてのものがかわりあっている中で法律は守るべきもので又守られて生きている私達の今日の倖せを深く感じた1日でした。参加させて戴きました事に感謝致します。

子育て支援に参加して

文責 大東支部 山岸文代

大東支部では、千浜保育園での子育て支援に年9回参加しています。土方地区は、10月22日（水）に絵本講座の子育て支援に行きました。毎月第4水曜日は絵本講座が計画されていて、丁度その日でした。支援センターよりTEL連絡で6人の依頼がありましたが更女より4人で行きました。（午前9:45より11:15）

子供さんは10人お母さんは7人でした。図書館の二人が読みきかせをして始まり、次は親子別になり私達の出番です。親と離れても無心に遊ぶ子、昼寝をする子、泣きじゃくる子、おもちゃを取り合う子さまざまです。子供の笑顔は、とっても可愛かったです。

少しでもお手伝いが出来た事うれしく思っています。次回は、2月の豆まきです。楽しみにしています。

夕食作りに参加して

文責 大東支部 戸塚滋子

10月30日「少年の家」の食事作りに5名で参加しました。食事作りの前に、新築した施設を所長さんに、案内していただきました。館内は、広々とした建物で、自然の光や風を採り入れられていて、寮生を更生するための工夫がされていました。規則の厳しい中で、個人の生活を大切に以前は、冷蔵庫を共有することでトラブルが多かったのが、ロッカー式で、各々に鍵をかけられるようにしてあり細かな点まで配慮されていて、寮生の唯一の楽しみは、食事であることを説明されました。

今回の献立は、肉じゃが、豚汁、マカロニサラダで新鮮な野菜や、季節の果物をたくさん取り入れて、材料もなるべく持ち寄りにし家庭の料理を味わってもらえるように考えました。たっぷりの野菜で、サラダには柿も入れて色どりのよいボリュームのある食事が、出来上がりました。

時間の過ぎるのが早く、皆さんに一日でも早く社会に復帰してほしいと願いながらの食事作りは、充実した一日となりました。



大東交流センターフェスタ参加

11月31日 9:00~13:30

更生保護女性会大東支部ではパネル展示とリーフレットの配布、会員さんが作って下さったくす玉を皆さんにプレゼントしました。たいへん喜ばれました。

更女のPRと会員募集を行いました。



11/31 大東交流センターフェスタ

障子張り作業

文責 大東支部 都築昭子

大東地区更女では、毎年12月に入りますと小笠老人ホームの障子張替えのお手伝いを、させてもらっています。

本年度も12月5日に会員15人で実施しました。数年らい恒例になっているだけに、皆さんなれた手さばきで作業がすすみます。

「古い紙をはがす人」「障子のさんをきれいにする人」「さんに糊を塗る人」「障子紙をサイズに切り障子をはる人」すばらしいチームワークで完成です。

真白な障子はいいいですね!!おへやも明るく、広く感じました。

入所されている皆さんも、このおへやで気持ちよく新年を迎え、元気にお過ごししてほしいなと思いました。



12/5 障子張り作業 (小笠老人ホーム)

「命の尊さ 産んでくれてありがとう」冠講座に参加して

文責 大須賀支部 名波千恵子

第1回目の冠講座が掛川東高校で、今回2回目が12月12日に大須賀中央公民館で横須賀高校1年～3年の生徒450名余りと更女の人達でNPO法人エキゾチック倶楽部副理事長、長田治義先生をお迎えして「産んでくれてありがとう」の演題で拝聴させていただきました。卵子と精子が受精し480億分の1の中から選ばれてこの世に誕生した優秀な君達、命を大切に自信を持ち困難に立ち向かう努力をしてほしい。

少しでも人より違う個性を持っている人は偏見の目で見られる。現在は左ききでも特別な目で見られる事はないけれど先生の幼少の頃には特別な目で見られいじめを受けた。でも担任の先生の言葉ですくわれ自信をもち今では左右同時に使用でき便利でうらやましがられるそうです。

エイズに関しても正しい知識もなく偏見の目で見えてしまう。もっと正しい知識を身につけなければいけないと先生のお話で実感しました。それにしてもエイズ患者が東京について静岡が全国で2番目だという不名誉な数字を減らす為にも正しい情報を発信してほしいものです。

先生の講演を拝聴する機会をいただいた事に感謝しています。長田先生のすばらしいお話をうまく表現できず申し訳ない思いです。機会がありましたら是非会員の皆様にも参加していただきたいと思いました。



12/12 人権教育講座 (大須賀中央公民館)

平素の活動でご意見がございましたらお寄せください。学んでいきたいことなど何でも結構です。